



計画の性格と推進期間

- 男女共同参画社会基本法第14条第1項及び秋田県男女共同参画推進条例第7条に基づく基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）第6条第1項に基づく秋田県女性活躍推進計画と一体的に策定
- 推進期間は令和8年度から12年度までの5年間

計画の推進体制

- 秋田県男女共同参画審議会やあきた女性の活躍推進会議（女性活躍推進法第27条第1項に基づく協議会）に報告し、意見を聞きながら推進
- 市町村や関係機関等と連携・協働して施策を実施
- 施策の進捗状況を毎年度検証し公表

計画策定の基本的な考え方について

(1) 計画策定の趣旨

本県最大の課題である人口減少が急速に進行する中においても、男女が互いに尊重し合い、協力しながら、誰もがあらゆる分野で活躍できる環境を築き、県の活力を維持・向上させていくため、これまでの成果と課題を踏まえつつ、令和8年度からの新たな推進計画を策定する。

(2) 計画の位置づけ

- 男女共同参画社会基本法第14条第1項及び秋田県男女共同参画推進条例第7条に基づく基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）第6条に基づく秋田県女性活躍推進計画と一体的に策定
- 本県の関連諸計画との整合

男女共同参画に関連した国の動向

- R5年度 ・ こども大綱策定
・ 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」一部改正（施行はR6年度）
⇒保護命令制度の拡充・保護命令違反の厳罰化 等
- R6年度 ・ 「育児・介護休業法」改正（R7から段階的に施行）
⇒子の年齢に応じた柔軟な働き方の実現、介護離職防止のための仕事と介護の両立支援制度の強化 等
- R7年度 ・ 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」一部改正（一部施行はR8年度）
⇒法律の有効期限を10年間延長（R18年3月31日まで）
・ 「男女共同参画社会基本法」一部改正
⇒独立行政法人男女共同参画機構の創設

第6次男女共同参画基本計画（国：次期計画）のコンセプト

目指すべき社会

- I 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
- II 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会
- III 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
- IV あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、国際社会と協調する社会

第5次計画（R3～R7年度）の体系と施策の方向性

推進の柱1
あらゆる分野における女性の活躍推進
（秋田県女性活躍推進計画）

- 施策の方向(1)**
女性が活躍し続けられる職場づくりの推進
- 施策の方向(2)**
女性一人ひとりが活躍できる環境づくりの推進
- 施策の方向(3)**
地域社会における女性の参画拡大

推進の柱2
健康で明るく安全・安心な暮らしの実現

- 施策の方向(1)**
性暴力やハラスメント等の根絶
- 施策の方向(2)**
ライフステージに応じた健康づくりへの支援
- 施策の方向(3)**
生活上の困難を抱える家庭等に対する支援

推進の柱3
男女共同参画社会の実現に向けた基盤の強化

- 施策の方向(1)**
人権の尊重と理解促進
- 施策の方向(2)**
行政分野等における率先した取組の推進
- 施策の方向(3)**
男女共同参画センターにおける取組の連携強化

第5次計画の主な成果・課題

【成果】

- ・ 女性活躍・両立支援センターによる企業への支援により、女活法及び次世代法に基づく一般事業主行動計画策定企業数が着実に増加
- ・ 育児休業制度等に関する理解促進や意識の向上により、県内民間事業所における男性の育児休業取得率が上昇
- ・ 「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識の着実な解消、男女平等に関する意識の高まり

【課題】

- ・ 男性の家事・育児等への参画を更に進めるため、企業や地域における意識改革や理解促進の一層の推進
- ・ あらゆる分野における女性の一層の参画促進
- ・ 多様な生き方、価値観が尊重され、誰もが自分らしく活躍できる魅力ある地域づくりの推進

第6次秋田県男女共同参画推進計画（仮称）骨子案について

策定に向けた考え方

- 国の第6次男女共同参画基本計画を反映するとともに、女性活躍・男女共同参画に向けた取組の加速のための重点方針を踏まえ、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指していく。
- 第5次計画の成果を活かしつつ、本県の最重要課題である人口減少対策に資する取組を強化していく。
- 社会情勢の変化や多様な価値観などへの対応を考慮する。

次期計画に向けた主な視点

- 政策・方針決定過程や地域活動における女性の参画拡大
- 防災・復興における男女共同参画の推進
- ◇ライフスタイルに応じて働き続けることができる環境づくり
- ◇若者、女性の定着・回帰の促進
- ◎男女ともに働きやすい職場環境の整備
- ◎育児休業取得率の向上に繋がる意識啓発の強化
- 男性の家事・育児・介護への参画促進
- ジェンダーギャップ解消に向けた理解促進
- 県内企業における経営者等の理解促進及び女性自身の意識改革
- 農林水産・建設業等あらゆる産業への女性の参画促進
- 男女共同参画センターにおける機能強化

《凡例》

- 国が掲げる課題
- ◇全国知事会男女共同参画プロジェクトチーム提言
- ◎男女共同参画に関する県民意識調査
- 県の施策等

計画の体系と施策の方向性

※下線部は、第5次計画から変更した項目

推進の柱1 性別に関わらず誰もが活躍できる環境づくりの推進 (秋田県女性活躍推進計画)

施策の方向(1)【女性が活躍し続けられる職場づくりの推進】

- ①企業等における女性の活躍推進や両立支援に向けた取組の促進
- ②女性が活躍する業種・職種の拡大
- ③企業における女性の登用促進
- ④男性の育児休業取得の促進
 - ・「とも家事」の取組拡大、理解促進 など
- ⑤新たな働き方の導入による多様なライフスタイルの実現

施策の方向(2)【男女ともに活躍できる環境づくりの推進】

- ①女性のキャリア形成や再就職に向けた支援の強化
- ②女性の起業に対する支援
- ③女性・若者の県内定着の促進
 - ・女性や若者に選ばれる魅力ある職場づくりや情報発信の充実による県内定着の促進 など
- ④男性の家事・育児・介護等への参画促進

施策の方向(3)【地域社会における女性の参画拡大】

- ①地域で活躍する人材の養成
- ②地域づくり活動への参画拡大

推進の柱2 健康で明るく安全・安心な暮らしの実現

施策の方向(1)【性暴力やハラスメント等の根絶】

- ①性犯罪・性暴力への対策の推進
- ②DV防止の普及啓発・学校等における予防教育の充実
- ③ハラスメントの根絶

施策の方向(2)【ライフステージに応じた健康づくりの支援】

- ①発達の段階に応じた健康教育の充実
- ②生涯を通じ性差に応じた健康の維持・増進
- ③母性保護と母子保健に関する施策の充実
- ④高齢者の自立生活と介護予防の推進

施策の方向(3)【生活上の困難を抱える家族等に対する支援】

- ①ひとり親家庭等への支援
- ②子ども・若者の自立に向けた力を高める取組の推進
- ③生活困窮、高齢、障がい等により課題や困難を抱える人への支援

施策の方向(4)【男女共同参画の視点に立った地域防災の推進】

- ①地域の防災活動における女性の参画拡大
- ②男女共同参画の視点に立った避難所設置・運営等の確立

推進の柱3 男女共同参画社会の実現に向けた意識醸成と基盤強化

施策の方向(1)【人権の尊重と理解促進】

- ①固定的な性別役割分担意識のさらなる解消に向けた啓発活動の推進
- ②男女平等など人権の尊重を推進する教育の充実
- ③多様性への理解促進
 - ・差別等の解消に向けた広報・啓発と相談体制の整備 など

施策の方向(2)【行政分野等における率先した取組の推進】

- ①政治や行政分野における女性の参画拡大
- ②県及び市町村の委員会・審議会等への女性の参画拡大
- ③行政分野における男性の育児休業取得の促進

施策の方向(3)【男女共同参画センターにおける機能の充実・強化】

- ①地域ニーズの収集と時代に対応した情報発信
- ②地域ネットワークの確立と機能強化

「第6次秋田県男女共同参画推進計画（仮称）」策定スケジュール													
	令和7年度												令和8年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国の動き	専門調査会での検討			第6次男女共同参画基本計画素案公表予定					第6次男女共同参画基本計画閣議決定				
県議会			6月議会			9月議会 骨子案説明			12月議会 素案説明			2月議会 計画案説明	第6次秋田県男女共同参画推進計画の策定
男女共同参画審議会					第1回開催 （現計画検証） （次期計画骨子案）			第2回開催 （素案の調査・審議）		第3回開催 （成案の諮問・答申）			
その他									パブリックコメント				

第6次秋田県男女共同参画推進計画の策定